



モノづくり
日本会議
—モノづくり推進会議 NextStage—
モノづくりへの挑戦

商社

川下分野に広がる商機



国際総合物流サービスにも力を入れる

物流では、三井物産が香港最大の商社である「& ファンブルー」傘下の香港エンド・エフ（LE）ロジスティクスと共同で、中国やアジア地域に進出する日系企業向けに、ロジスティクス機能を提供するほか、中国のスマートフォン（多機能携帯電話）やタブレット受注した。受注額は30億

インフラで活躍目立つ



商社がアジアで展開する水事業

インフラ面でも商社の活動が目立つ。ベトナムは高い経済成長率を背景に、電力需要量は年間15%前後のペースで増加している。将来増加に対応するため、ベトナム電力公社が、同市で計画中の「オモン第一火力発電所2号機」プロジェクトを約280億円で受注した。急速な民主化が進むミャンマーは原油、天然ガスなどを輸出するが、同発電所は丸紅はヤンマー電力からコラボで複合火力発電所を稼働させることで、韓国の大林産業と共に、ベトナム南部のカントンで計画中の「オモン第一火力発電所2号機」プロジェクトを約280億円で受注した。急速な民主化が進むミャンマーは原油、天然ガスなどを輸出するが、同発電所は丸紅はヤンマー電力からコラボで複合火力発電所を稼働させることで、韓国の大林産業と共に、ベトナム南部のカントンで計画中の「オモン第一火力発電所2号機」プロジェクトを約280億円で受注した。

日本国内での日本品質での配達体制を提供する三井物産とLEロジスティクスを踏まえ、建設機械の販売、レンタル、中古販売などを展開する。丸紅は日新工機（茨城県ひたちなか市）とタカハ（新潟県糸魚川市）と共に、世界最大級の中国ステンレス製鋼所の山西太钢不锈钢股份有限公司から高炉溶融スラグを利用したロックウール製造設備を受注した。受注額は30億

円。中国初の高炉スラグ月、米穀物メジャーのガ

バソコン工場向けに出荷する国内大手電子部品メーカーを対象にサプライ

設備となる。同社としては過去

中国は世界最大の穀物最大の買物だが、米力

・食品消費国でもある。中

・国全土に販売網を持ち、支配に風穴を開けた。

一方、伊藤忠商事は米

・ド・カンパニーの加工食

品事業収支歩を進めて

いる所得額は1300億円規模になる見通しだ

が、ドールが世界展開する

などアジアで拡大していく

。グループ企業のノア

・ミリマートのアジア展

開につながる。円高を背

景に、この分野での大型

買収は今後も続くだろ

う。

・ドールなど穀物メジャー

・ナムやフィリピン、ミヤ

・シマードなどの他のアジア地

域での展開も進める方針

だ。

丸紅はインドネシアの

・CTグループ傘下で主

にホンダ車の販売金融を

手がけている大手2輪車販

売金融会社の株式30%

を取得。同社の経営に参

画、ディーラー事業への参

入も狙う。将来はベトナム

新車販売されているが、

盗難保険や延長保障サー

ビスなど2輪車コーナーへ向

ける。ベトナムでもホンダの2輪車コーナーへ向

けに保険サービスを開始

する。ベトナムでは2輪車

車が年間30万台強も

新車販売されているが、